

科目名		AIプロデュース				年度	2025	
英語表記		AI Produce				学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	科目オリエンテーション	科目の概要、評価法について理解する	1	科目の概要、評価法	科目の概要、評価法について理解する	3		
2	MECE・演繹法と帰納法	MECE（ミーシー）、演繹法と帰納法について説明できる	1	MECEの理解	効果的な活用方法を理解する	2		
			2	演繹法と帰納法	2つの手法の違いを理解する	2		
			3	ケーススタディ	実際の状況での思考の適用を体験する	2		
3	Whatツリー（1）	Whatツリーの概要を理解する	1	Whatツリーの基本構造と機能	基本的な構造と機能や利点を理解する	2		
4	Whatツリー（2）		Whatツリーを用いて課題に対する原因を記述できる	2	実際の問題や課題への適用	実際の問題や課題を元にしてWhatツリーを作成する	2	
		3		他の分析ツールとの組み合わせ	他の分析ツールと組み合わせて、問題を多角的に分析する	2		
5	Whyツリー（1）	Whyツリーの概要を理解する	1	Whyツリーの基本構造と目的	基本的な構造と機能や利点を理解する	2		
6	Whyツリー（2）		Whyツリーを用いて課題に対する原因を記述できる	2	実際の問題や課題への適用	実際の問題や課題を元にしてWhyツリーを作成する	2	
		3		根本原因分析との関連性	Whyツリーを使用して、実際に問題の根本原因を特定する	2		
7	Howツリー（1）	Howツリーの概要を理解する	1	Howツリーの基本構造と目的	基本的な構造と機能や利点を理解する	2		
8	Howツリー（2）		Howツリーを用いて課題に対する原因を記述できる	2	実際の問題や課題への適用	実際の問題や課題を元にしてHowツリーを作成する	2	
		3		戦略的思考との関連性	Howツリーを使用して得られた情報や洞察を基に実際の戦略や計画の策定を行う	2		
9	ピラミッドストラクチャー（1）	ピラミッドストラクチャーの概要を理解する	1	基本概念と構造	基本的な構造と機能や利点を理解する	2		
10	ピラミッドストラクチャー（2）		ピラミッドストラクチャーで自身の主張を記述できる	2	論理的思考との関連性	構築過程での論理的思考の重要性、およびその適用方法を学ぶ	2	
		3		実際のケースを通じた練習	フレームワークを使用して情報を整理し、文書やプレゼンテーションを作成する	2		
11	ズームイン・ズームアウト	ズームイン・ズームアウトについて説明できる	1	基本的な概念	概念と利点や制約を学ぶ	2		
			2	適切な使用方法	手法の適切な使い方を学ぶ	2		
			3	柔軟な思考	柔軟な視点からの分析や評価を習得する	2		
12	最終課題（1）	課題に対する自身の考えを説明できる	1	論理的思考と情報整理の基盤としてのツールの理解	各ツールの背後にある考え方や原理を理解し、それぞれの適切な使用シチュエーションを把握する	2		
13	最終課題（2）			2	実践を通じたツールの適用能力の養成	各ツールを実際のケーススタディや課題に適用して、情報の整理や分析、主張の構築を行う	2	
14	最終課題（3）				3	多様な視点からの問題分析と解決策の提案	複数のツールや手法を組み合わせることで、問題や課題を多様な視点から分析し、より包括的で効果的な解決策を提案する	2
15	最終課題（4）							
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他								
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった								
備考 等								